

これからも北鹿地域と共に

今年のコラムでは、当大学の六人の在校生と修了生を紹介させて頂きました。ご紹介いただきました皆様ありがとうございました。

開学から三十年が経過し、大館地域では当大学のことを「職短」、「職能短大」と呼び、その存在をある程度知っ

ていただけているのではないのでしょうか。しかし、まだま

な北鹿地域では当大学の存在を「存しない方も多いと思われ

ますので、まずは当校の紹介をさせて頂きたいと思います。

当大学は、大館市にある国が設置する厚生労働省所管の工科系の短期大学です。

ものづくりの基本を習得し、企業の製造現場での最新の技能・技術に対応できる人材の養成を行っています。実践技能者の養成に特化しており、一般の大学にはない様々な特徴を持っています。平成五年

設立から、秋田県内を中心に、二千四百人以上の実践技能者を輩出してきました。修了生は、企業における実践技

能者として重要な役割を果たし、企業の発展・地域社会の発展に貢献するなど大いに活躍しています。また、企業の生産現場で働く在職者が抱える課題解決のため、生産性の向上や業務の改善、新たな製品の創造に必要な専門的知識及び技能・技術を習得する職業訓練を実施しています。

なお、当大学では随時オープンキャンパスを開催しています。「ものづくり」分野のスペシャリストを目指してみたい方は、オープンキャンパスに参加していただき、当校の雰囲気を感じていただければと思います。

そのほか、地域との関わりとして、小・中・高・大による産業教育の成果の発表・展示の機会を提供する大館圏域産業祭における産業教育展の主体的な運営、地域企業と合同で小・中学生を対象としたロボットプログラミングの教室を実施する「おおだてロボット人材育成コンソーシア

ム」の運営、小・中・高校生を対象としたキャリア教育講演や体験授業等の実施、学生・教職員による各種ボランティアへの参加を行っています。

その中で、大館圏域産業祭は、今年十月二十六日(土)、二十七日(日)に大館市の二プロハチ公ドームで開催されます。産業教育展では、当大学の学生が卒業制作として取り組んできた成果の展示等

る産業教育の成果の発表・展示の機会を提供する大館圏域産業祭における産業教育展の主体的な運営、地域企業と合同で小・中学生を対象としたロボットプログラミングの教室を実施する「おおだてロボット人材育成コンソーシアム」の運営、小・中・高校生を対象としたキャリア教育講演や体験授業等の実施、学生・教職員による各種ボランティアへの参加を行っています。

さて、近年DX、GXといった急速な技術の進展により、ものづくり産業を取り巻く環境は大きく変化しており、技術の進展に対応できる人材の育成・確保が重要な課題となっています。また、秋田県、特に北秋田地域においては少子高齢化が進み、その対策として若者の定住・移住が課題となっています。当大学校としては、引き続き技術の進展に対応した訓練の実施により、優秀な実践技能者の育成及び生産現場で働く在職者のリスキリングを行うとともに、若者の地元定着のため行政機関、産業界、関係団体と連携し、地域と共に発展していけるよう教職員一同努力してまいります。

最後にありますが、北鹿新聞社様には、今年もコラム掲載の機会をいただいたことに深く感謝申し上げます。

(終わり)

秋田職能短大 能力開発部長

山崎 正裕



最後にありますが、北鹿新聞社様には、今年もコラム掲載の機会をいただいたことに深く感謝申し上げます。

(終わり)